■HCG 特別企画１　3月23日(月) 17:30 - 18:30 Room D (604 教室)

招待講演：「オブジェクト指向スクリプト言語　「Ruby」の開発」

まつもと ゆきひろ(ネットワーク応用通信研究所)

WI2 研究会企画

昨今，Rubyに代表される動的言語の台頭は著しく，Webアプリケーション開発など様々な領域において適用事例が増加しています．本シンポジウム開催地の島根県松江市に在住するRuby の開発者，まつもとゆきひろ氏にRubyの背景・思想・歴史から，変化しつつあるアプリケーション開発のトレンドに合致するRubyの特徴・利点などを解説頂きます．

■HCG 特別企画２　3月24日(火) 13:30 - 15:30 Room D (604 教室)

招待講演：　「エンタテインメント工学：心を豊かにする科学技術の創生」

稲見昌彦(慶應義塾大学)，苗村健(東京大学)

アニメーション，ゲーム，インタラクティブアート等の我が国独自のメディア文化と深く係わりをもつ学問として，「エンタテイメント工学」を提唱，推進している新進気鋭のお二人の研究者， 稲見昌彦先生(慶應義塾大学)， 苗村健先生(東京大学) をお招きし，この分野の最新の話題をお話し頂きます．

■HCG 特別企画３　3月24日(火) 15:50 - 17:20 Room D (604 教室)

「HC 研究の過去・現在・未来 ～ MVE 研の事例から ～」

特別講演：　「私のＨＣ研究：過去・現在・未来」佐藤　誠(東京工業大学)

MVE 研究会企画

研究の進展や，研究に対する社会的ニーズの変化に応じて，各研究会の取り扱う研究分野や，その主要な研究トピックスは変化していきます，このような変化に研究会はどのように対応し，どのように進んでいけばよいのでしょうか．本企画では， マルチメディアと仮想環境を扱うMVE 研を題材に， 研究分野の変化を振り返り，今後の進む道について考えます．

講演では， HCG の佐藤誠委員長(東京工業大学/MVE研顧問) に， ご自身の研究の軌跡に関連する研究分野およびHCG の活動の変遷を織り込みながら， 過去・現在の研究動向を大局的にお話し頂きます．その後のパネル討論では，MVE 研およびHCG の関連分野のパネラーが， それぞれの研究分野の現在の動向を踏まえ，未来に向かっての提言について議論します．HC研究の今後を占う熱い議論にご期待ください．

■オーガナイズドセッション：ヴァーバル・ノンバーバル・コミュニケーション(VNV) 研究会

3 月23(月) 午前 及び 3 月24 日(火) 午前　Room E (502 教室)

「コミュニケーションの「場」を捉える」

従来， コミュニケーションに関する研究は参与者の情報伝達や振る舞いに焦点が当てられることが多く， そうした参与者の立場や役割， ひいては表出行動をも規定する「場所」の問題は等閑視されてきました． 本企画では医療現場やコンピュータ上での仮想空間， ならびにインタビュー場面といった， コミュニケーションの参与者が非対称な役割を担う様々な場面で生起するコミュニケーションの生態についての議論を行いたいと思います． また， そうした「場」において身体を持ったロボットがどのようにコミュニケーションを活性化する役割を担うことができるかについて， 早稲田大学の小林哲則先生にご講演頂きます． こうした多様な側面や視点からのコミュニケーション研究の議論を行うことで， 我々が多重に参与するコミュニケーションの「場」について皆様と相互理解を深めることができることを期待しております．

■オーガナイズドセッション： 料理メディア(CM) 研究会

3 月24 日(火) 午前 Room C (602 教室)

「料理メディアの現状と将来像： 若手研究者によるこれまでの研究会講演内容報告とパネルディスカッション」

「料理」は人間の最も基本的な活動の一つであり， おいしい， 楽しいといった喜びをもたらすだけでなく， 健康， 文化， コミュニケーションなど， 多方面において我々の日常に深く関係しています． そこで2006 年11 月に「料理メディア研究会」を発足し，「献立」「調理」「摂食」のさまざまな場面において， 人の手助けをする情報処理技術の在り方について議論を行ってきました． これまでの計9 回の研究会では， 「マルチセンサによる調理行動認識」「調理支援システム」など工学的観点の他、企業や行政、医師の方々により「家電」「食育」「食文化」「健康」「食料自給率」「コミュニティ」等， 様々な方面から情報提供を頂きました． 本企画では， これらの講演内容を若手研究者の視点でまとめ， 紹介した後，参加者の皆様も交えて料理メディアの将来像を思い描きます．

プログラム

■ 3 月23 日(月) 13:00 - 18:30 (一部13:30 より開始)

□ Room B (503 教室) 14:00 - 15:30 WIT(1)-(3) 高齢者・視覚障害

WIT(1) 14:00 - 14:30 期待感を持続させる遠隔隔世代感のつながりを支援するフィジカル・エクササイズ・ゲーム

○王 宇・田野俊一・市野順子・橋山智訓(電気通信大学)

WIT(2) 14:30 - 15:00 多機能な統一点字インタフェース（Braille IF）の提案

○坂井忠裕・半田拓也・浅川 治(NHK 放送技研）・石川 准(静岡県大)

WIT(3) 15:00 - 15:30 視覚障害者が操作可能な触地図作成システムの開発

○渡辺哲也・山口俊光・南谷和範・大内 進(特総研）・宮城愛美(筑波技大）・岩下恭士(毎日新聞)

□ Room C (602 教室) 13:30 - 15:30 HCS(1)-(4) コミュニケーション支援(1)

HCS(1) 13:30 - 14:00 表情トレーニング支援インタフェースの臨床における有用性の検証 ～ 口唇口蓋裂を有する患者への適用 ～

○高見 愛・伊藤京子・埴淵俊平・西田正吾・八木雅和・上松節子・高田健治(阪大)

HCS(2) 14:00 - 14:30 協調的な意思決定型議論を支援する情報提示に向けた検討

○大西智士・伊藤京子・西田正吾(阪大)

HCS(3) 14:30 - 15:00 ロボットの見かけや動きが目が合う条件に及ぼす影響

○山森崇義(ATR-IRC/ 阪大院）・小川浩平(ATR-IRC/ はこだて未来大院）・西尾修一(ATR-IRC）・石黒 浩(阪大院 /ATR-IRC)

HCS(4) 15:00 - 15:30 遠隔操作型アンドロイドとの同調感により誘起される身体感覚延長の検証

○渡辺哲矢(阪大/ATR-IRC）・小川浩平(公立はこだてみらい大/ATR-IRC）・西尾修一(ATR-IRC）・石黒 浩(阪大院 /ATR-IRC)

□ Room D (604 教室) 13:30 - 15:30 WI2(1)-(4) ユーザコミュニティ

WI2(1)13:30 - 14:00 トピックの需要分析に基づくソーシャルブックマークの評価手法

○湯本高行・角谷和俊(兵庫県立大)

WI2(2) 14:00 - 14:30 ソーシャルまとめサイトシステムの試作

○高橋庸介・佐々木 祥・宮田高道(東工大）・小林亜樹(工学院）・山岡克式(東工大)

WI2(3) 14:30 - 15:00 リアルタイムブログ配信のための配信先ユーザ高速選択方式

○服部 元(KDDI 研）・原隆 浩(阪大）・小野智弘・滝嶋康弘(KDDI 研）・西尾章治郎(阪大)

WI2(4) 15:00 - 15:30 良い回答とは何か ～ Q&A コミュニティにおける良回答の要因分析 ～

○佐藤芙美・宇陀則彦・松村 敦(筑波大)

□ Room E (502 教室) 13:00 - 15:30 VNV オーガナイズドセッション 1
コミュニケーションの「場」を捉える医療の「場」

－－－ 休憩 （ 20 分 ） －－－

□ Room B (503 教室) 15:50 - 17:20 WIT(4)-(6) 視覚障害

WIT(4) 15:50 - 16:20 自動点訳サーバeBraille を用いた病院内バリアフリー対応の試み

○菅野亜紀(神大院）・花岡澄代(神大病院）・相良かおる(西南女学院大）・浅原正幸(奈良先端大)
・三浦研爾・大田美香(神大院）・松本裕治(奈良先端大）・大島敏子(神大病院）・高岡 裕(神大院)

WIT(5) 16:20 - 16:50 点字自己学習用e-learning システムの開発

○小田 剛・菅野亜紀・三浦研爾・大田美香・高岡 裕(神大院)

WIT(6) 16:50 - 17:20 触覚探索におけるオブジェクトの配置条件と提示要式に関する基礎実験

○御園政光(KGS）・坂井忠裕・半田拓也(NHK）・小田浩一(東京女子大)

□ Room C (602 教室) 15:50 - 17:20 HCS(5)-(7) グループコミュニケーション

HCS(5) 15:50 - 16:20 グループコミュニケーションの活性化を目的とするRFID を用いたスケジュール遂行支援システムの開発

○戸塚大介・小暮 悟・小西達裕・竹内勇剛・伊東幸宏(静岡大)

HCS(6) 16:20 - 16:50 2方向顔画像からのテーブルゲーム競技者の視線検出法に関する検討

○唐 華斌・大谷 淳(早大)

HCS(7) 16:50 - 17:20 サイバーシアターにおける観客の表現法に関する検討

○劉 強・大谷 淳(早大)

□ Room D (604 教室) 15:50 - 17:05 WI2(5)-(9) SNS とコンテンツ (ショート発表)

WI2(5) 15:50 - 16:05 擬人化コンテンツによる提示型インタフェース

○菅野夏美・松村 敦・宇陀則彦(筑波大)

WI2(6) 16:05 - 16:20 Web コンテンツ推薦におけるJaccard 係数方式と尤度比検定方式の適用領域に関する検討

○王 琳琦(東工大) ・小林亜樹(工学院) ・佐々木 祥・宮田高道・山岡克式(東工大)

WI2(7) 16:20 - 16:35 研究リソースの共有を支援する研究室SNS の開発

○越智洋司・真木 努・井口信和(近畿大)

WI2(8) 16:35 - 16:50 ソーシャルブックマークのコメントにおける言語表現と機能の分析

○山田剛一・本 晶夫・絹川博之(東京電機大)

WI2(9) 16:50 - 17:05 ユーザの行動目的に着目したWeb ログの傾向分析

○市川裕介・石井久治・佐藤宏之・小林 透(NTT)

□ Room E (502 教室) 15:50 - 17:20

VNV オーガナイズドセッション 2

コミュニケーションの「場」を捉える身体の「場」

――― 休憩 （ 10 分 ） ―――

□ Room D (604 教室) 17:30 - 18:30

HCG 特別企画 1 ： 「オブジェクト指向スクリプト言語 「Ruby」の開発」

まつもと ゆきひろ(ネットワーク応用通信研究所)

■ 3 月24 日(火) 8:30 - 19:30 (一部9:00 より開始)

□ Room A (501 教室) 8:30 - 10:00 HCS(8)-(10) コミュニケーション支援(2)

HCS(8) 8:30 - 9:00 Creative Thinking Support Communication System with Random Prompter "●" that Allows Hand-drawing

○Chen Li Jen ・Ohya Jun(Waseda Univ.) ・Yonemura Shunichi(NTT Cyber Solution Lab.) ・Tokunaga Yukio(Shibaura Instit. of Tech)

HCS(9) 9:00 - 9:30 初対面紹介エージェントにおけるコミュニケーションモデルと身体的引き込み制御

○佐野睦夫・宮脇健三郎・寺本佳生・速水達也・向井謙太郎・川野雅雄(阪工大) ・笹間亮平・伊藤宏比古・山口智治・山田敬嗣(NEC)

HCS(10) 9:30 - 10:00 就職内定者SNS での人間関係構築のための過去の興味対象の共通性を用いた会話相手推薦手法

○生駒貴嗣・村田和義・倉本 到・渋谷 雄・辻野嘉宏(京都工繊大)

□ Room B (503 教室) 9:00 - 10:00 WIT(7)-(8) 視覚障害

WIT(7) 9:00 - 9:30 視知覚検査用アプリケーションフレームワークの構築

○瀧尾康一・佐藤勇輔(工学院大) ・川端秀仁(かわばた眼科) ・長嶋祐二(工学院大)

WIT(8) 9:30 - 10:00 視覚認知障害児の電子カルテシステムからの統計解析

○山口翔大(工学院大) ・簗田明教・川端秀仁(かわばた眼科) ・長嶋祐二(工学院大)

□ Room C (602 教室) 9:00 - 10:00 CM オーガナイズドセッション 1

料理メディアの現状と将来像～研究会報告～

□ Room D (604 教室) 9:00 - 10:00 WI2(10)-(11) 文書解析

WI2(10) 9:00 - 9:30 固有表現の共起情報を用いたオントロジー語彙拡充技術

○稲葉真純・長野伸一・服部正典(東芝)

WI2(11) 9:30 - 10:00 語と語の関連性に基づくスコアリング手法の文書検索への応用利用とその評価

○伊藤ゆかり・波多野賢治(同大)

□ Room E (502 教室) 8:30 - 10:00 VNV オーガナイズドセッション 3

コミュニケーションの「場」を捉える対話の「場」

――― 休憩 （ 20 分 ） ―――

□ Room A (501 教室) 10:20 - 11:50 HIP(1)-(3) ヒューマン情報処理(手話及び視覚)

HIP(1) 10:20 - 10:50 手話母語者による手話の語彙認知構造の実験的考察

大森健志(工学院大) ･○寺内美奈(職業能力開発総合大学校) ･長嶋祐二(工学院大)

HIP(2) 10:50 - 11:20 手話理解における表情の機能分析方法の基礎的検討

○志田和也(工学院大/NCNP) ･長嶋祐二(工学院大) ･本田 学(NCNP)

HIP(3) 11:20 - 11:50 視覚探索の学習に伴う自律神経反応の変化

○竹内龍人(NTT CS 研) ･田中靖人(三城光学研)

□ Room B (503 教室) 10:20 - 11:50 WIT(9)-(11) 注意・運動・学習の障害

WIT(9) 10:20 - 10:50 注意障碍を有する失読症者のためのコンピュータを用いた平仮名読み取り訓練

○森本 聡(島大大学院) ･縄手雅彦(島大)

WIT(10) 10:50 - 11:20 スライドデバイスを用いた脳性麻痺児の視覚と運動の協応訓練

○北山裕士･縄手雅彦(島大)

WIT(11) 11:20 - 11:50 高次脳機能障害を含む学習障害者向け、補助教材作成のための画像処理

○村山慎二郎･青木恭太(宇大) ･森岡典子(村山特別支援学校)

□ Room C (602 教室) 10:20 - 11:50 CM オーガナイズドセッション 2
料理メディアの現状と将来像～パネルディスカッション～

□ Room D (604 教室) 10:20 - 11:50 WI2(12)-(14) 情報検索

WI2(12) 10:20 - 10:50 文書内容の一貫性を考慮した検索手法の実装とその評価

○田村航弥･波多野賢治(同大)

WI2(13) 10:50 - 11:20 Web コンテンツ作成支援のためのリンク目的を意識したリンク先推薦システムの実装と評価

○武吉朋也･服部 元･小野智弘･滝嶋康弘(KDDI 研)

WI2(14) 11:20 - 11:50 アクセスランキング掲載サイト情報をまとめたユーザーズランキング生成

○日野滋樹(NTT)

□ Room E (502 教室) 10:20 - 11:50 VNV 招待講演
「マルチモーダル会話ロボットとグループコミュニケーション」
小林哲則(早大)

－－－ 昼食 （ 100 分 ） －－－

Room D (604 教室) 13:30 - 15:30 HCG 特別企画 2 ： 「エンタテイメント工学： 心を豊かにする科学技術の創生」
苗村健(東大) ・稲見昌彦(慶大)

－－－ 休憩 （ 20 分 ） －－－

Room D (604 教室)15:50 - 17:20 HCG 特別企画 3 ： 「HC 研究の過去・現在・未来 ～ MVE 研の事例から ～ 」

－－－ 休憩 （ 10 分 ） －－－

HCG 合同懇親会(HC 賞表彰式)
場所： 大学会館 2 階 (http://www.ieice.org/~hcg/sympo2008/access.html ⑱)
時間： 17:30 - 19:30 参加費： 無料

■ 3 月25 日(水) 9:00 - 16:20

□ Room A (501 教室) 9:00 - 10:00 HCS(11)-(12) コミュニケーションにおける「顔」

HCS(11) 09:00 - 09:30 集団作業の構造による成員の顔が見えることの効果の違い

○松田昌史(NTT)

HCS(12) 09:30 - 10:00 幼児の描く顔の形状と色の分析 〜「顔だけ」から「楽しい顔」へ 〜

○関本康裕・湯浅将英・武川直樹(電機大)

□ Room B (503 教室) 9:00 - 10:00 WIT(12)-(13) 肢体障害・介護

WIT(12) 9:00 - 9:30 エレベータによるフロア間移動が可能な音声操作型電動車椅子

水口正治・○村井 彰・西森雅人・齊藤剛史・尾崎知幸・小西亮介(鳥取大)

WIT(13) 9:30 - 10:00 カメラとモニタ導入に伴うグループホーム介護者の負担感に関する研究(第2 報)

○杉原太郎・劉 曦・藤波 努(北陸先端大)

□ Room C (602 教室) 9:00 - 10:00 MVE(1)-(2) 画像処理

MVE(1) 9:00 - 9:30 両眼視差に基づいた素材厚みを反映する画像特徴の実験的検討

○小林裕一・小黒久史(凸版印刷)

MVE(2) 9:30 - 10:00 壁画構造を利用した壁画の抽出 〜 タイ王宮ワット・プラケーオ回廊の壁画への画像処理 〜

○辻合秀一(富山大)

□ Room D (604 教室) 9:00 - 10:00 WI2(15)-(16) モバイル環境

WI2(15) 9:00 - 9:30 モバイルサービス向けタスク指向型メニューの実規模試作と評価に関する一考察

○笹嶋宗彦・古谷孝一郎・來村徳信(阪大) ・深澤佑介・長沼武史・倉掛正治(NTT ドコモ) ・溝口理一郎(阪大)

WI2(16) 9:30 - 10:00 異種複数の履歴に基づくモバイル向け行動ターゲティング

○深澤佑介・長沼武史・大野木碧・倉掛正治(NTT ドコモ)

――― 休憩 (20 分) ―――

□ Room A (501 教室) 10:20 - 11:50 HCS(13)-(15) 視線とコミュニケーション

HCS(13) 10:20 - 10:50 ろう者の二言語緊急通報読み取りにおける視線特性

○鎌田一雄(宇都宮大) ・米村俊一・永徳真一郎(NTT)

HCS(14) 10:50 - 11:20 Gaze Mirroring: ユーザの興味を顕在化させるための注視模倣

○平山高嗣・朴 惠宣・松山隆司(京大)

HCS(15) 11:20 - 11:50 3人会話の視線と発話マインド分析 〜 話者と聞き手の発話マインドは話者交替に際しどう調整されるか? 〜

○徳永弘子・湯浅将英・武川直樹(電機大)

□ Room B (503 教室) 10:20 - 11:50 WIT(14)-(16) 手話・聴覚障害

WIT(14) 10:20 - 10:50 TVML による手話アニメーションの一検討

○金子浩之・浜口斉周(NHK) ・道家 守(NHK-ES) ・井上誠喜(NHK)

WIT(15) 10:50 - 11:20 VUTE: 動画ピクトグラムによる緊急時コミュニケーション補助システム

○中園 薫(NTT) ・長嶋祐二(工学院大) ・細野直恒(OCS)

WIT(16) 11:20 - 11:50 動画ピクトグラムによるコミュニケーション補助のための手話表現の分析

○角田麻里(ICU) ・中園 薫(NTT) ・堀込 昭・長嶋祐二(工学院大)

□ Room C (602 教室) 10:20 - 11:50 MVE(3)-(5) 3 次元ディスプレイ

MVE(3) 10:20 - 10:50 可視光通信プロジェクタを用いた残像ディスプレイの基礎検討

○岸 遼(東大) ・筧 康明(慶大) ・苗村 健(東大)

MVE(4) 10:50 - 11:20 レーザープラズマ方式自由空間点群ディスプレイにおける日本語文字コンテンツの基礎検討

○伊野浩太・苗村 健(東大)

MVE(5) 11:20 - 11:50 Photonastic Surface: 光で制御する3 次元形状ディスプレイ

○大口 諒(東大) ・筧 康明(慶大) ・高橋桂太・苗村 健(東大)

□ Room D (604 教室) 10:20 - 11:50 WI2(17)-(19) 情報抽出

WI2(17) 10:20 - 10:50 ハイパーリンク自動生成のためのキーワード抽出方式の提案とコンタクトセンターへの適用

○立石健二・細見 格・久寿居大(NEC)

WI2(18) 10:50 - 11:20 検索クエリログを用いた商品属性抽出手法の検討

○関口裕一郎・北川結香子・田中明通・内山 匡(NTT)

WI2(19) 11:20 - 11:50 Grammar-gram とGrammarVerb-gram を用いたドメイン非依存型Why テキストセグメント判定と回答抽出

○田中克幸・滝口哲也・有木康雄(神戸大)

－－－　昼食　（ 70 分 ）　－－－

☐ Room A (501 教室) 13:00 - 14:00 HCS(16)-(17) コミュニケーション支援(3)

HCS(16) 13:00 - 13:30 ユーザ利用状況に応じたアプリ性能制御のためのリソース配分方法

○西原康介・石坂一久・酒井淳嗣・宮崎　孝(NEC)

HCS(17) 13:30 - 14:00 人間にとって学習しやすい音楽の一条件

○松永理恵(JSPS) ・阿部純一(北大)

☐ Room B (503 教室) 13:00 - 14:00 HIP(4)-(5) ヒューマン情報処理

HIP(4) 13:00 - 13:30 インスタレーション作品のHCI についてのアフォーダンス的考察 ～ MAF2008(SUAC) での事例から ～

○長嶋洋一(静岡文芸大)

HIP(5) 13:30 - 14:00 限られた視聴時間内における動画の効果的な時間短縮手法

○伊藤秀和・濱川　礼(中京大)

☐ Room C (602 教室) 13:00 - 14:00 MVE(6)-(7) 作業支援

MVE(6) 13:00 - 13:30 複合現実感による作業学習システムにおける教示像の位置

○中西基文・井上智雄(筑波大)

MVE(7) 13:30 - 14:00 アイデアとリアリティの間をシームレスに行き来可能な体感型デザイン環境の提案と試作

○金山尚史・田野　俊一・市野順子・橋山智訓(電通大)

☐ Room D (604 教室) 13:00 - 14:00 WI2(20)-(23) システム開発と分析(ショート発表)

WI2(20) 13:00 - 13:15 印象語からの概念推定システム

○永井洋平・黒木さやか・山名早人(早大)

WI2(21) 13:15 - 13:30 異なる知識を持つ人々の合意形成に関する分析 ～ 選好誘因が動的に変化する場合を対象として ～

○松下光範(関西大)

WI2(22) 13:30 - 13:45 タスクをマップ化することで見える化するプロジェクト管理ソフトウェアの開発

○高橋純一(システムフレンド)

WI2(23) 13:45 - 14:00 雰囲気メタファによる街の偏在情報の集約・提示システムの検討

○宮森恒・水口　充・河合由起子(京産大) ・是津耕司・木俵　豊(NICT)

－－－　休憩　（ 20 分 ）　－－－

☐ Room A (501 教室) 14:20 - 16:20 HCS(18)-(21) マルチモーダルコミュニケーション

HCS(18) 14:20 - 14:50 姿勢センサを用いたテレビリモコン向け文字入力操作方式の提案

○青木良輔・前田篤彦・渡部智樹・小林　稔・阿部匡伸(NTT)

HCS(19) 14:50 - 15:20 時空間画像処理によるロバストなジェスチャ認識

○前田眞一郎・佐々木祐也・犬丸秀人・岡田至弘(龍谷大)

HCS(20) 15:20 - 15:50 コミュニケーション創出基盤ActiveAvatar

○丹生隆之・千原晋平・石井健一・関谷かや人・屋敷田淳子(NEC) ・山崎俊太郎・松橋崇史・玉村雅敏・金子郁容(慶大)

HCS(21) 15:50 - 16:20 多人数映像会話における話し手の身振りと会話アクティビティの関係

～ 視線一致と不一致環境により会話の質はどのように変わるか？ ～

○片山貴信・武川直樹・徳永弘子・湯浅将英(電機大)

☐ Room B (503 教室) 14:20 - 15:20 HIP(6)-(7) ヒューマン情報処理

HIP(6) 14:20 - 14:50 空間手がかりによる早期抑制効果

○松田幸久(金工大/ 東北大) ・岩崎祥一(東北大)

HIP(7) 14:50 - 15:20 鼻呼吸計測装置の軽量化

○星野聖(筑波大)

☐ Room C (602 教室) 14:20 - 16:20 MVE(8)-(11) 力覚提示・遠隔操作

MVE(8) 14:20 - 14:50 力覚を有する仮想レオロジー物体モデリング ～ 温度変化に伴う仮想物体の粘弾性変化 ～

○山岡正和・井門　俊(愛媛大)

MVE(9) 14:50 - 15:20 3D マウスのためのクラッチ機構の設計

○一色正晴・馬場次郎・赤羽克仁・佐藤　誠(東工大)

MVE(10) 15:20 - 15:50 構造化光受光型位置センサと小型振動子を用いた指先装着型 ハプティックインタフェースの提案

○青木孝文(東工大) ・長谷川晶一(電通大) ・佐藤誠(東工大)

MVE(11) 15:50 - 16:20 透明タッチパネルを用いた遠隔ディスプレイ操作システム

○杉田　馨・高倉潤也・山内康晋(東芝)

□ Room D (604 教室) 14:20 - 15:20 WI2(24)-(26) ユーザ行動の調査

WI2(24) 14:20 - 14:50 複数情報源のデータ比較に基づく事物の妥当性判断支援

○宮森恒(京産大)

WI2(25) 14:50 - 15:20 新聞記事の印象は読む順番によって変わるのか

○熊本忠彦(千葉工大)

WI2(26) 15:20 - 15:50 ユーザのWeb 閲覧パターンに基づくコンテンツ提示制御

○大野木碧・山田直治・礒田佳徳・倉掛正治(NTT ドコモ)